気象警報（注意報）・避難情報

気象警報（注意報）

気象庁では、大雨や強風により災害が起こるおそれがあるときは、右表のとおり気象警報や気象注意報を発表して注意や警戒を呼びかけます。

特別警報が発表されたら！

- ■あわてずに、周囲の状況や市が発表する避難情報を確認しましょう
- ■ただちに避難情報に従うなど、適切な行動をとりましょう

種　類	発　表　基　準
注　意　報	災害が起こるおそれのあるとき
警　　報	重大な災害が起こるおそれのあるとき
特別警報	数十年に一度の、これまで経験したことがないような重大な危険が差し迫った異常な状況のとき

避難情報

小樽市では、災害の危険性が高まり、避難の必要がある場合には右の表のとおり避難情報を発表します。

災害からいのちを守るため、これらの情報に注意して早めに適切な行動をとりましょう。

なお、身の危険を感じたときは、これらの避難情報にとらわれずに、迷わず避難を始めましょう

種　類	と　る　べ　き　行　動
避難準備・高齢者等避難開始	■家族との連絡や非常持出品の確認など、避難の準備を始めてください ■避難に時間のかかる方(高齢者・乳幼児等)は、避難を始めてください
避　難　勧　告	■指定緊急避難場所等の安全な場所へ避難してください
避難指示（緊急）	■まだ避難をしていない方は、ただちに避難してください ■大雨などで外出が危険なときは、屋内の2階以上の部屋やがけ等からできるだけ離れた部屋など、より安全な場所へ避難してください

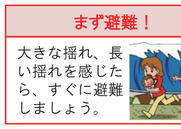
情報の入手手段

異常気象時や災害時には、次のような情報源を活用して、いち早く正確な情報を入手しましょう。

テレビ（データ放送）

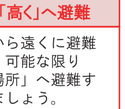
ラジオ

緊急速報メール



★受信設定の方法等は、各携帯電話会社のホームページ等で確認してください

広報車



インターネットによる情報の入手先

小樽市ホームページ	小樽　防災　検索	https://www.city.otaru.lg.jp/simin/anzen/bosai/
北海道防災情報	北海道　防災　検索	https://www.bousai-hokkaido.jp/
札幌管区気象台ホームページ	札幌　気象台　検索	http://www.jma-net.go.jp/sapporo/
気象庁ホームページ	気象庁　検索	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
北海道電力（停電情報）	停電　小樽　検索	http://www.hepco.co.jp/power_outage/

地震・津波

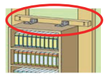
地震への備え

地震が起きたときは、まず自分のいのちを守ること、そしてケガなどをしないことが大切です。

ケガをしてしまうと、避難行動や地域が協力して行う救護活動などが速やかに行えなくなってしまいます。

また、地震発生時のケガの多くは、家具の転倒などによるものなので、家の中のものが飛んだり倒れたりしないように配置や固定方法を工夫して、家の中の安全性を高めておくことが大切です。

- ■転倒防止金具
  柱や壁に固定するものや床に固定するものがあります



- ■重ね留め金具
  上下に重ねた家具を固定して上の家具の落下を防ぎます

- ■扉・引き出しストッパー
  扉などが開いて、中の食器などが飛び出すのを防ぎます

- ■寝床の周りに大きい（重たい）家具を置かない
- ■通路や出入口には荷物を置かない
- ■テレビはできるだけ低い位置に置き金具などで固定する
- ■棚などにものを収納するときは、重いものを下に、軽いものを上に収納する
- ■吊り下げ式の照明器具は、鎖などで補強する
- ■ガラスが割れて飛び散るのを防ぐためのフィルムを貼る

地震発生時の行動

発生時	■丈夫なテーブルの下や、物が落ちたり倒れたりしてこない場所に身を寄せて、揺れが収まるまで様子をみる
地震の直後	■揺れが収まってから、あわてずに火のもとを確認する ■万が一出火した場合は落ち着いて消火する ■転倒した家具類や、割れたガラス・食器類に注意し、あわてて外に飛び出さない ■窓やドアを開けて出口を確保する ■屋外で揺れを感じたときは、ブロック塀やビルなどに近づかない
地震の後	■大規模な火災の発生などで危険が迫っているときは、安全な場所へすばやく避難する ■沿岸部で大きな揺れを感じたときや津波警報が発表されたときは高台などへすばやく避難する ■ラジオ・テレビなどで正確な情報を得る ■自宅を安全確認後、近隣の安否を確認する ■負傷者などは、近隣どうしで協力して救ける ■避難する場合は、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める

津波からいのちを守る「5か条」

津波はいつどこで発生するか分かりません。日頃から、津波からいのちを守るためのポイントを覚えておいて、いざというときに素早い避難などの適切な行動をとれるようにしましょう。

まず避難！

大きな揺れ、長い揺れを感じたら、すぐに避難しましょう。

「遠く」より「高く」へ避難

無理に海岸から遠くに避難するよりも、可能な限り「より高い場所」へ避難するようにしましょう。

なるべく歩いて避難

渋滞や通行止めにより避難が遅れる可能性があります。可能であればなるべく歩いて避難しましょう。

繰り返し襲ってくる

注意報・警報が解除されるまで避難を続けましょう。

思わぬ場所から襲ってくる

津波が河川や地下水路をさかのぼり、水があふれ出す場合があります。河川等からは離れましょう。

大雨・土砂災害

大雨への備え

大雨による災害は、地震による災害などと異なり、多くの場合は事前に対策をとる時間があります。台風の接近など、大雨が予想されるときは、気象警報（注意報）に注意して、早めの対策をとることが被害を最小限に抑えることにつながります。

屋外の対策（雨・風が強くなる前に行う）

- ■窓はきちんと施錠し、網戸などは風で飛ばないようにはずしてしまっておく
- ■側溝、排水口などは掃除して、水はけを良くしておく
- ■風で飛ばされるおそれのあるものは、きちんと固定するか屋内にしまう
- ■土のうを準備しておく

屋内の対策

- ■非常持出品を確認する
- ■停電に備えて、懐中電灯、小型ラジオ　カセットコンロなどを用意しておく
- ■断水に備えて、風呂に水をためておく
- ■浸水して困るものは、2階に上げておく
- ■最寄りの避難場所までの経路を確認しておく

水平避難と垂直避難

雨や風が強い状況や、暗くなってからの避難は大変危険です。このようなときは、避難場所への移動（水平避難）だけではなく、自宅の２階や、近くの頑丈な建物の高い階への移動（垂直避難）も考えましょう。特に、家の周りが浸水しているようなときは、垂直避難をして救助を待ちましょう。

土砂災害への備え

土砂災害は、大雨や地震の影響により、山やがけが崩れたり、水と土砂が混じって川から流れ出す災害です。

小樽市は傾斜の急な土地が多く、土砂災害からいのちを守るためには、日頃からの対策と早めの避難を心がけることが大切です。

- ■身の回りに土砂災害の危険性が高い地域（土砂災害警戒区域）がないか、小樽市が作成している土砂災害ハザードマップなどで、あらかじめ確認しておきましょう
- ■気象庁が発表する**土砂災害警戒情報**や、小樽市が発表する**避難情報に注意して、早めの避難を心がけましょう**

	がけ崩れ	土石流	地すべり
種　類			
現　象	大雨や地震の影響で、斜面が急に崩れ落ちる現象	上流で発生した土砂が一気に下流へ押し流される現象	大雨や地震の影響で、斜面がゆっくりとずれ落ちる現象
こんな前ぶれに注意	■小石がパラパラと落ちる ■がけから水がわき出る ■地鳴りがする	■川の水が異常に濁る ■雨が降り続いているのに、川の水位が下がる	■地面にひび割れや段差ができる ■樹木や電柱が傾く ■木の根が切れる音がする

（資料提供：NPO法人土砂災害防止広報センター）

わが家の備え

緊急連絡先

名称		所在地	電話番号	ＦＡＸ
行政機関	小樽市役所	花園2-12-1	32-4111	25-1487
	駅前ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	稲穂2-22-10	22-7535	33-9502
	銭函ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	見晴町3-26	62-2017	62-3976
	塩谷ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	塩谷1-18-7	26-1500	26-4197
病院	小樽市立病院	若松1-1-1	25-1211	32-6424
	夜間急病ｾﾝﾀｰ	住ノ江1-7-16	22-4618	22-5610

名称		所在地	電話番号	ＦＡＸ
消防・警察	小樽市消防本部（火災・救急）	花園2-12-1	22-9137／119	22-5345
	小樽警察署（事件・事故）	富岡1-7-1	27-0110／110	27-0110
	小樽海上保安部	港町5-2	27-6118／118	23-9700
ライフライン	北海道電力㈱小樽支店	富岡1-9-1	23-1111	33-9143
	小樽市水道局	花園2-11-15	22-8111	27-0695
	北海道ガス㈱小樽支店	入船4-33-1	29-5533	29-2207

家族の連絡先・避難場所

家族のなまえ	血液型	勤務先・学校と電話番号	携帯電話番号	メールアドレス	わが家の避難場所	所在地	電話番号

■災害時には電話がつながりにくくなることがあります。安否確認には災害用伝言ダイヤル「１７１」や災害用伝言板を活用しましょう。

非常持出品

貴重品類	あめ・チョコレート	ヘルメット・帽子	**その他の日用品等**	家族の写真（はぐれたときに使用）
貴重品・現金（小銭も）	**避難用具**	軍手（綿・皮）	携帯電話・充電器	
保険証・免許証（ｺﾋﾟｰ）	リュックサック	運動靴・笛・ブザー	めがね・入れ歯・薬	赤ちゃんやペットがいるときは、そのためのもの
非常食	懐中電灯・ヘッドランプ	**衣類**	ライター	
非常食・携行食	携帯ラジオ	着替え・タオル	ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ・ウエットﾃｨｯｼｭ	その他、自分の生活に欠かせないもの
飲料水（最低1日1ﾘｯﾄﾙ）	予備の電池	雨具・防寒具（ｶｲﾛ）	ビニール袋・ポリラップ	